

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		サニー・キッズ・クラブ				公表日	令和8年 2月 4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	活動内容によって、パーテーションなどを使用し、部屋の広さを工夫しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	4	利用者人数に応じて、職員配置を調整しています。	利用者一人ひとりの状況を考慮し、適切な職員配置に努めます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	3	室内には、手すりを設置するとともに、利用者がすぐに理解できるよう視覚支援を取り入れています。	今後も、利用者の特性や年齢に応じて、視覚支援の内容や表示方法を定期的に見直していきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	2	日常的に清掃を行い、清潔で快適な環境づくりを行っています。	清掃内容を明確にし、職員間で共通理解を図り今後も、より安心して過ごせる環境づくりを目指していきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	2	利用者の状態、特性に応じて個別の部屋や落ち着ける場所を自ら選択できるように環境を整えています。	今後も、利用者が必要に応じて安心して利用ができるように場の提供を行っていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	業務開始の朝のミーティングにて行っています。	今後も継続し、業務改善に努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	会議等で職員間で共有し、支援内容や運営の見直しなどの業務改善に活かすように努めています。	いただいたご意見の内容をより整理し、継続的な業務改善に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	意見を交換する機会を設け、日々の支援や業務に関する課題を共有しています。必要に応じて業務の改善に反映しています。	今後も、意見交換の機会を定期的に設け、職員間での共通理解と改善意識の向上を図っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	現在、第三者による外部評価は実施しておりません。	今後、第三者評価の実施を検討し、客観的な視点を業務改善に活かしていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的に、資質向上の目的として職員研修を行っています。研修で得た内容は、共有し、日々の支援に活かすよう努めています。	研修内容を職員間で共有し、日々の支援により一層反映できるように工夫してまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	作成、公表しています。	更新があれば随時内容を伝えていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	個々の利用者に対してアセスメントを行い、懇談を行った上で、利用者及び保護者のニーズや課題を把握し、計画を作成しています。	今後もアセスメント内容の整理を継続し、より客観的な分析に繋げていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員が情報を共有し、利用者の最善の利益を考慮した検討を行っています。	職員間での意識共有の機会を充実させ、共通理解を一層深めていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	作成した計画は、職員間で共有し、計画に沿った支援を行うように努めています。	支援の振り返りを定期的に行い、計画と実施にずれが生じないように工夫していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	標準化し、独自に作成しています。利用者の様子を継続的に確認しています。	必要に応じて、標準化されたツールの活用も検討し、より多角的なアセスメントに繋げていきます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	放課後等デイサービスのガイドラインの趣旨を踏まえ、支援内容を計画に反映し設定しています。	今後も、支援内容がより具体的になるように計画内容の整理と見直しを行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムについて、職員間で意見を出し合いながらチームで立案をしています。	職員全員が主体的に意見が出せるように話し合いの機会を工夫していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	利用者の興味や成長に応じて、活動内容に変化を持たせるように工夫をしています。	マンネリ化を防ぐため、定期的に活動内容の振り返りと見直しを行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた計画を作成し、支援を行っています。	活動の切り替えが円滑になるよう、事前に見直し、提示や環境調整を工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には、職員間で打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担を確認した上で連携して支援を行っています。	情報共有の漏れを防ぐため、打ち合わせ内容の簡潔な記録や共有方法を工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	ミーティングで行っており、その日の支援内容を振り返り、気付いた点等を共有しています。	今後も継続し、次回の支援により活かせるように工夫していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援について、アプリを使用し記録を行い、支援内容の振り返りや改善に繋げるよう努めています。	今後も継続して行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度、モニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しも行っていきます。	モニタリング結果を職員で共有し、計画の見直しに反映できるように工夫していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	組み合わせさせて支援をしています。	今後も、活動内容が偏らないように計画段階での確認を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	利用者が自己選択できるよう、活動や関わり方に工夫を取り入れ、自己決定力を育てる支援を行っています。	今後も継続し、利用者一人ひとりの段階に応じた選択肢の提示方法をさらに工夫していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が中心的に会議に出席しています。	今後も継続し、会議内容を職員間で共有し、支援により反映できるように連携を深めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	各関係機関と連携し、支援を行う体制を整えています。	今後も継続して、関係機関との情報共有の機会を増やし、より円滑な連携に繋げていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	必要に応じて、連絡をとり情報を共有しています。	情報共有の方法を整理し、今後も学校としっかり連携が取れるようにしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有を行い、相互理解に努めています。	今後も必要に応じて情報共有の機会を設け支援の継続性を高めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	2月現在該当する利用者はいません。	今後は、移行時に引き継ぎ内容を整理し、関係機関との連携をより丁寧に行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	必要に応じて、助言や研修を受ける機会を設けています。	助言や研修内容を職員間で共有し、支援により反映できるように努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	現在、来ていません。	今後交流の場を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7	現在は、していません。	今後、機会があれば参加したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日頃から、連絡帳アプリや送迎時の対面でのやり取り、必要に応じた電話、懇談を通じて共有を図っています。	今後も、継続し、より分かりやすい伝達方法を検討していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	定期的に研修等の案内をしています。	研修情報の提供方法を工夫し、参加しやすい環境づくりを進めていきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時および必要に応じて書面を用いながら丁寧に説明し、保護者の理解を得ています。	説明の資料の見直しを行い、より理解しやすい表現や内容となるように改善していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	利用者や保護者の意思を尊重し、利用者の最善の利益を第一に考え、懇談等を通じて意向を確認する機会を設けています。	懇談等の意向確認の機会を継続的に設け、支援計画への反映をより丁寧に行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者からの同意を得ています。	今後も、丁寧に説明を行い、保護者の理解をより深めていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	懇談や日常のやり取りを通じて適切に対応し、必要に応じて助言や支援を行っています。	今後も、相談内容の記録と共有を行い、継続した支援に繋げていけるよう体制を整えていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者懇談会、研修会の計画を実施しました。	時間等の確保が困難な場合もありますが、引き続き、計画をしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情対応の体制を整備し、周知した上で迅速かつ適切に対応をしています。職員間で共有し、再発防止に努めています。	引き続き、対応内容の記録と振り返りを行い、再発防止に繋げていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の通信や、SNS（Instagram）を用いて、活動内容や行事予定、連絡体制について情報発信を行っています。	今後も継続し、より分かりやすい発信に努めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	職員間で、周知を行い適切な管理と取り扱いに十分に配慮しています。	定期的な確認や研修を通して、個人情報保護に対する意識をより高めていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	個々に応じた方法で、情報伝達の配慮を行っています。	引き続き、工夫し、より伝わりやすい支援を目指していきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	年に1度のマルシェを行い、地域の方との交流を図っています。	今後も継続し、地域交流の行事を検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを周知し、定期的に訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	月に一度、避難訓練を行っています。外部の救命救急士さんからも訓練をみてもらい、助言もいただいています。	今後も実際の災害を想定した訓練の実施頻度を高め、実効性を向上させていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメントシートの活用をして、急なてんかん発作にも職員全員が対応できるように情報を共有しています。	引き続き、職員の共有方法を統一し、職員間の共通理解をより深めていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーに配慮し、活動時に食品を扱う際は、安全に支援を行う体制を整えています。	引き続き、安全に支援を行う体制を整えていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	事故防止に向けた安全計画を作成し、日常的に確認を行っています。	今後も、研修や訓練を通じてさらなる事故防止意識の向上を図っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時に説明をしております。また、日ごろの連絡や懇談を通じて家庭と連携しながら安全に関する取り組みを共有しています。	今後も、継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	会議等で職員間で共有し内容とともに原因や再発防止策について検討しています。	引き続き、定期的に振り返り、再発防止を明確にし、職員全体の安全意識向上に繋げていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止に関する研修や会議に参加し、職員の意識向上に努めています。職員間で声をかけや確認を行い支援の実施に努めています。	今後も引き続き継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	現在は、該当する利用者がいません。	今後、必要時は保護者と十分に話し合い、対応させていただきます。